



年 組 名前

道新でワークシート

EPA発効で欧州産ワイン

大手スーパー値下げ

コンビニなども追従へ

日本と欧州連合（EU）の経済連携協定（EPA）が1日発効し、欧州産ワインの関税が即時撤廃された。オホーツク管内では大手スーパーがすでに道内他地区と同様に値下げに踏み切っており、地元スーパーやコンビニエンスストア、酒店も追従する構えだ。

今回のEPA発効で、欧州産ワインは1本（750ミリリットル）当たり最大約94円の関税が撤廃となった。

イオン北海道（札幌）は1月中旬から、管内の北見店、紋別店を含む全道40店でフランス産ワインを最大約2割引きするセールを展開。今月1日に、対象を増やし平均約1割引きにした。セイコーマートは1日、

全店で欧州産ワイン30品を最大100円値下げした。

東武イーストモール端野店（北見市）は、現在販売する商品が関税撤廃前に仕入れたもののため、この日の値下げはなかった。中野悟営業統括本部長は「今後は仕入れ価格が下がる見込み。下げ幅に応じて値引きしたい」。欧州産を中心に40〜60種類のワインを販売する北見市の酒店「ぶちシヨップなかざわ」ときわ店」は今後、仕入れ値に応じて値下げを検討するが「取り扱いの多い2千〜3千円台のワインが100円程度の値引きで売れ行きが伸びるか疑問」と話している。

（和賀豊、菊池圭祐）

2019年2月02日（土）朝刊北見・オホーツク版15面（記事は再編集しています）

①経済連携協定（EPA）により、日本にはどのようなメリットがありますか。記事から探して書きなさい。

②関税が引き下げられることで、今後どのような問題が起こることが予想されるか。